

## 地域コミュニティのまちづくりビジョン策定における 住民参画のプロセスと効果



2023/9/16  
大正大学 金子洋二

## 魚津市における 地域まちづくり計画策定の経緯

- 2014 地区別まちづくりワークショップの実施（13地区）
- 2015 魚津市総合計画第10次基本計画策定  
地域振興会の設置（13地区）  
大町地区まちづくり計画策定（おおまち未来会議）
- 2016 経田地区まちづくり計画策定（きょうでん未来会議）
- 2017 本江地区まちづくり計画策定（ほんごう未来会議）
- 2018 魚津市まちづくりフォーラムでの報告
- 2019 西布施・下中島・上中島・上野方・片貝の5地区で未来会議を実施し、計画を策定
- 2020 加積・道下地区でまちづくり計画策定
- 2022 松倉地区でまちづくり計画策定

※村木・天神地区は自力で策定

## まちづくりワークショップの特性



## まちづくりワークショップの効果

- 1 参加の機会の提供
- 2 新しい人材や視点の発掘
- 3 化学反応を誘発
- 4 相互理解・価値観の共有
- 5 地域の一体感の醸成

## ファシリテーションとは

Facilitation = 円滑にすること、促進

ワークショップなどの話し合いの場で、参加者が水平な関係の中で自由に発言・行動しやすい環境をつくり、達成目標に向けて参加者の意見を引き出し、議論を活性化させながら円滑に進めること。ファシリテーションを行う人のことをファシリテーターと呼ぶ。

## ファシリテーションの5つの要素

- 1 参加者同士の水平な関係
- 2 自由に発言しやすい環境
- 3 意見と対話を引き出す
- 4 情報の「見える化」
- 5 情報の整理・集約・共有

## 通常の役割分担（パッケージ型）

	主催者 (発注者)	コーディネーター (受託者)
①事業企画	○	
②参加者募集・広報	○	
③プログラム企画		○
④打合せ・現地確認	○	○
⑤当日用資料作成		○
⑥当日の進行・F T		○
⑦WS結果のデータ化		○
⑧成果品（まとめ）作成		○
⑨地域へのフィードバック	○	

業務委託料の目安：80～100万円  
(ワークショップ4回・FT2名として)

## 魚津方式（FT育成型）

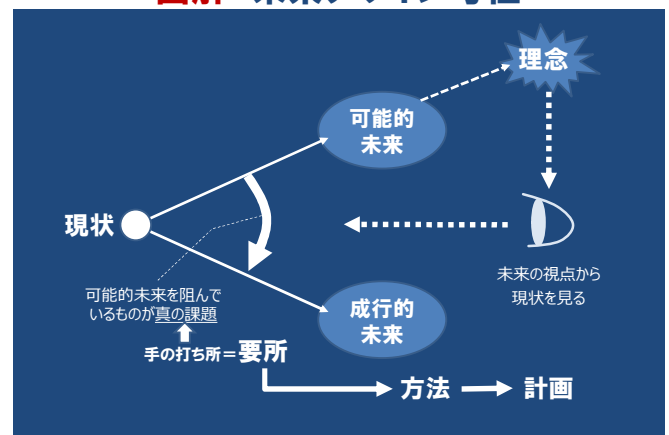
	主催者 (発注者)	⑤FT研修	コーディネーター (受託者)
①事業企画	○		
②参加者募集・広報	○		
③プログラム企画			○
④打合せ・現地確認	○		○
⑥当日用資料作成	○	←	
⑦当日の進行・F T	○		○
⑧WS結果のデータ化	○	←	
⑨成果品（まとめ）作成			○
⑩地域へのフィードバック	○		

業務委託料の目安：40～50万円  
(FT研修1回・ワークショップ4回・FT1名)

## まちづくりを考える手順 未来デザイン考程

- 1 **理念設定**： 何のためにやるのか究極の目的を明確にする
- 2 **現状把握**： 好ましい現状と気になる現状を整理する
- 3 **未来予測**： 可能的未来と成り行きの未来を描く
- 4 **要所解明**： 成り行きを変える手の打ち所を探す
- 5 **方法立案**： 実現のための方針・方策を立案する
- 6 **計画編成**： 具体的な作業手順を整理する

## 図解 未来デザイン考程



## プログラム全体の流れ

〇〇の未来を大予測！

まち探検&アイデア大会

アクションプランをつくる

## 「ほんごう未来会議」（2017）のプログラム



- <第1回> 平成29年6月25日（日）
  - ・コーディネーターの役割を学ぶ
  - ・地区の望ましい未来像を共有
- <第2回> 平成29年7月23日（日）
  - ・まちあるき（資源の掘り起こし）
  - ・まちづくりのアイデアを共有
- <第3回> 平成29年8月19日（土）
  - ・事業の絞り込み
  - ・事業内容、資金、実施体制検討
- <第4回> 平成29年9月10日（日）
  - ・受益者と協力者の想定
  - ・事業計画作成



## ブレーキをかける要因

- 行政計画との齟齬(空き校舎の活用など)
- 市嘱託職員の位置づけが曖昧
- 人手不足(現役世代の参画が難しい)
- 専門知識の不足(フォローアップが必要)
- セクト主義
- 少数反対者の存在
- 統合小学校との協働(地区ごとの連携が難しい)
- リーダーからの圧力(世代交代が進まない)

※2019年2月 関係者へのインタビュー調査より

## プラン策定後の地域の課題

- 地区内での理念とビジョンの共有
- 事業評価の導入
- 事業実施レベルでの官民協働の推進
- 公民館と地区振興会の位置づけの明確化
- 実働人材の確保(市嘱託職員、外部人材)
- 次世代の担い手育成

※2019年2月 関係者へのインタビュー調査より

## 継続的にアクションを生み出すポイント

- **ビジョンの共有**
- **継続的な話し合いの場の運営**
- **若手の組織化と権限委譲**
- **子どもと親世代の巻き込み**

※2019年2月 関係者へのインタビュー調査より

## 県庁が注目 → 富山全域に展開中



富山県地域づくり自慢大会 2019年12月

## 富山県中山間地域「話し合い」促進事業

- 富山県が2019年から実施。担当は地方創生局ワンチームとやま推進室中山間地域対策課
- 実施希望地区(RMO)→市町村→県
- 県からの補助金は1地区あたり40万円程度
- 地区毎に県の担当職員が配置される
- 1地区3~5回のワークショップを実施
- コーディネーターを1地区に1人派遣(インターン起用可)

## 未来会議方式の標準プログラム

- <第0回> 事前研修会
- <第1回> ○○の未来を大予測!
- <第2回> まち点検とアイデア大会
- <第3回> みんなでつくるアクションプラン(1)
  - 事業の絞り込み
  - 事業内容と実施体制の検討
- <第4回> みんなでつくるアクションプラン(2)
  - 受益者と協力者の想定
  - 資金調達方法の検討
  - 中期計画(または工程表)の作成

## 役割分担 (標準パターン)

### 【県】

地区との事前打ち合わせ、講師との調整、当日の司会、プログラム・当日資料の作成、最寄り駅から講師の送迎可

### 【実施地区・市町村】

会場手配、参加者募集、意見のデータ化、WS備品手配

### 【まちづくり学校(受託者)】

全体の企画、WS進行、各回のまとめ作成、事業アドバイス

※TFは地区住民と県スタッフ。例外的に市職員が担当するケースも

## 「未来会議」実施地区 (2015~2022)

2015	魚津市大町	2021	富山市山田西部 砺波市東山見 氷見市柳田 黒部市東布施 南砺市上平 南砺市福野東部 朝日町山崎
2016	魚津市経田	2022	氷見市宇波 富山市八尾町上四町 富山市細入 富山市上滝 南砺市安居 南砺市太美山 南砺市井口 魚津市松倉 黒部市愛本 砺波市雄神 立山町東谷
2017	魚津市本江		
2019	魚津市上中島		
	魚津市下中島		
	魚津市上野方		
	魚津市片貝		
2020	魚津市西布施		
	富山市黒瀬谷		
	砺波市梅檀野		
	小矢部市南谷		
	南砺市山野		
2020	魚津市加積		
	魚津市道下		
	富山市小見		
	氷見市十二町 南砺市平		

## 今後の展望

- 2023年度は10地区で実施中
- 富山県によるアンケート調査により「未来会議」を通じたまちづくりビジョン策定の効果を検証
- 富山県内の中山間地域にある地域コミュニティの約半数(70地区程度)での実施を目標とし、引き続き希望地区を募集する。
- 同プログラムの横展開を視野に、ノウハウを整理して資料化する